

部会名	平成 28 年度第 2 回 障がい当事者部会		
日 時	平成 29 年 3 月 22 日 (水) 17:00~19:00		
場 所	グリーンホール 2 階ホール		
参加者	約 90 名 (部会関係者、一般参加者含む)		
会議の公開 (傍聴)		傍聴者数	
<p>1 概要</p> <p>①講演テーマ 「障害者差別解消法講演会～障がいのある人もない人も、暮らしやすい地域とは～」</p> <p>②講師 毎日新聞論説員の野澤和弘氏</p> <p>③参加対象者 障がい当事者部会員、板橋区地域自立支援協議会関係者、区内在住・在勤・在学の人</p> <p>2 講演内容 (一部)</p> <p>○法制定の背景、差別的取扱いと合理的配慮について。</p> <p>○合理的配慮の提供における建設的対話が大事である。</p> <p>○意思の表明ができない人の場合には、家族・支援者が代弁できる。</p> <p>○野沢氏が講師をしている大学での事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障がいのある生徒のため、音声翻訳ができるスマートフォンのアプリを活用した。 <p>○アメリカの官僚に対するインタビューの紹介「法律ができたからと言ってすぐには、変わらない。アメリカもそうだった。ただ、未来を変えることはできる」</p> <p>○障がい者を雇用している企業の配慮事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩きやすい、車いすでも利用しやすいカーペットの使用 ・高さを変えられる机の使用 ・写真で作業工程を説明する <p>○その他、強度行動障がいも多く受け入れているグループホームにおける事例等、野沢氏自身の体験や出会いを踏まえての具体的な事例の紹介していただいた。</p> <p>3 参加者アンケートにおける主な感想 (一部紹介)</p> <p>○「法や制度を変えたからといって、社会はすぐには変わらない。でも未来は変えられる。」という言葉に共感した。</p> <p>○人材を残すことの大切さを理解した。</p> <p>○障がい者と支援者たる人との建設的な対話を行う事が大切。</p> <p>○次回があれば大々的に広報してほしい。</p> <p>○ALS 患者が大学生の心を動かした話が感動した。</p> <p>○指点字を考えた人の話が良かった。</p> <p>○自分の職場では、合理的配慮が不十分だと感じた。</p>			